

令和2年10月

各団体・機関の責任者 各位

一般社団法人 農業開発研修センター
会長 理事 小池 恒男
[公 印 省 略]

令和2年度（通算第49回）農協問題総合研究会の開催について

拝啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当センターでは、4月に発令された新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言を受けて、感染拡大防止のため、7月と8月に開催予定の基幹研究会を止むなく延期もしくはプログラムの大幅な変更により、事業継続を図ってまいりました。

緊急事態宣言が解除された後、政府はGO TO トラベルやGO TO イベントなど、需要喚起に関する様々なキャンペーンを展開していますが、今後、どのような反動がくるか懸念されます。

そこで、新型コロナ禍を乗り越え、アフターコロナをどう切り拓いていくか。研究者・実践者の提言を通じて、理解を深め、確信へとつなげることができたらと願い、標記研究会を別添開催要領のとおり開催いたします。今回は、「趣旨」に示してありますとおり、アフターコロナを見据えたJAの事業推進のあり方や協同活動のあり方、さらにはそれらを踏まえた、経営構造改革のあり方をめぐって徹底討論します。

JAグループの役職員の皆様がアフターコロナの羅針盤を見出すための一助となるよう、是非とも本研究会をご活用いただきたいと考えております。つきましては、業務ご多忙の折とは存じますが、貴団体・機関の関係者、特に企画などをご担当されている役職員の皆様のご参加につき、格別のご配慮を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬 具

令和2年度（通算第49回）

農協問題総合研究会開催要領

主催：一般社団法人農業開発研修センター

《趣 旨》

J Aグループは、「農協改革集中推進期間」における創造的自己改革の実践により、規制改革推進会議の先の答申（7月）では、一定の評価を得ました。また、「5年後検討条項」である准組合員事業利用規制問題は先送りになったものの、准組合員のJ A事業運営への参加の課題が提起され、規制改革を標榜する今後の新政権の動きを注視する必要があります。

こうした中、J Aグループは今、第28回大会決議の「創造的自己改革の実践」に取り組んでいますが、農林中央金庫による奨励金の段階的見直しは、新型コロナウイルス感染拡大という厳しい情勢も加わり、今後のJ Aの経営収支に大きな影響を及ぼすこととなります。したがって、いかに経営構造改革を図るかが喫緊の重要課題となっています。

そこで今年度の研究会では、アフターコロナを見据えたJ Aの事業推進のあり方や協同活動のあり方、さらにはそれらを踏まえた、経営構造改革のあり方をめぐって徹底討論します。

期 間：令和2年11月18日(水)～20日(金)

会 場：京都J Aビル 地下2階 201・202会議室（別図参照）

京都市南区東九条西山王町1 (TEL 075-681-5169)

J R京都駅八条口より徒歩5分

定 員：40名

参加費： [円(税込)／人]

会員 ^{※1}	非会員	会友同時加入
60,000	83,000	65,000 ^{※2}

※1：会員所属者および令和元年度以前からの会友（個人会員）です。

※2：令和2年度・3年度の2カ年の会友（個人会員）会費を含む金額で、新規加入に限ります。

補足）令和元年度以前からの会友（個人会員）は部分参加割引があります。

昼 食：

19日(木)に昼食（弁当、1,300円）を準備します。

ご希望の方は、参加申込書にご記入のうえ、代金を送金してください。

申込方法：

参加申込書をファックスで送信し、参加費を送金してください。

なお、振込手数料はご負担ください。

京都府信用農業協同組合連合会（京都信連）

本 店 当座預金 口座番号：6373291

京都銀行 京都駅前支店 普通預金 口座番号：3164073

口座名義：一般社団法人農業開発研修センター

申込締切日：11月13日(金)17:00

受付ができましたら、受理通知書をファックスで送信します。

当開催要領および参加申込書は、ホームページ (<https://agridtc.or.jp>) に掲載しています。

日 程：

《第1日目》 11月18日(水)

13:30～13:50 開会あいさつ・オリエンテーション
一般社団法人農業開発研修センター 会長理事 小池 恒男
(滋賀県立大学名誉教授)

13:50～15:10 報告Ⅰ つながり志向のJA経営
(うち質疑応答約10分)

立命館大学 経済学部 招へい教授 増田 佳昭氏
滋賀県立大学名誉教授

- 近著『つながり志向のJA経営 組合員政策のすすめ』による新たな組合員政策の試論的展開
- 新型コロナが農協に問いかけたこと
- 組合員とのつながり強化をJA経営政策の柱とした自己改革の実践

15:10～15:30 休 憩

15:30～16:40 報告Ⅱ 持続可能な地域社会の実現に向けて
(うち質疑応答約10分) —コロナ禍で期待される協同組合の役割—

市民生活協同組合ならコープ 常務理事 福西 啓次氏

- 1974年に誕生。組合員数276,394人。奈良県民の約46%が加入している地域購買生協。出資金106億円、供給高384億円(令和元年度実績)
- 吉野共生プロジェクトの実践—人と自然、人と地域、都市と山間の共生の実現—
- 東吉野小水力発電所の支援、再生可能エネルギー発電所の取り組み、宅配弁当の配達エリア拡大による地域との関係性強化

《第2日目》 11月19日(木)

9:20～10:40 報告Ⅲ 「農協改革」の現局面と新たな自己改革
(うち質疑応答約10分)

京都大学 学術情報メディアセンター 研究員
三重大学名誉教授 石田 正昭氏

- 准組合員事業利用規制問題、奨励金見直しなど総合農協を取り巻く環境変化と対応課題をどう見るか
- JA運営に対する准組合員の意思反映、運営参加をどう実現するか
- わが国総合農協の改革課題と方向—組合員・地域の未来を切り拓くために—

10:40～11:00 休 憩

シンポジウム「徹底討論 どう進める JAの経営構造改革
—アフターコロナを見据えて—」

11:00～11:10 座長解題 神戸大学名誉教授 高田 理氏

- シンポジウムで議論したい論点
例えば ・自己改革の実践状況と今後の課題
・支店・事業所の統廃合のあり方
・農業関連施設の再編のあり方 等

実践報告共通テーマ わがJAの経営戦略とめざすべき経営構造改革の方向

11:10～12:00 実践報告①

岩手県 新岩手農業協同組合 代表理事専務 荻谷 雅行氏

- 平成9年に誕生した6市8町4村を管内とするJA。組合員総数41,343名(うち、正組合員18,849名)、貯金2,428億円、貸出金495億円、長期共済保有高8,739億円、販売品販売高462億円、購買品供給高151億円(令和元年度実績)
- 経営改善の重要ポイントとして位置づけられた支店・施設の再編統合の実践
- 営農センターと支店にある営農機能の見直し・再編、外部委託による事務コスト削減等の取り組み

12:00～13:00 昼 食

13:00～13:50 実践報告②

長野県 信州うえだ農業協同組合
常務理事・くらしづくり本部長 丸山勝也氏

- 平成6年に誕生した2市1町1村を管内とするJA。組合員数28,111人（うち正組合員15,675人）、貯金3,344億円、貸出金539億円、長期共済保有契約高8,397億円、購買品供給高48億円、販売品販売高80億円。（令和元年度実績）
- 組合員・地域の拠り所となる支所機能再編・統廃合のあり方—組合員の参加・参画による新たな事業拠点機能の検討と構築—
- 事業拠点再構築後の対応との効果—出向く体制の強化・事業管理費の圧縮等—

13:50～14:00 休憩

14:00～14:50 実践報告③

和歌山県 紀の里農業協同組合 常務理事 中山裕之氏

- 平成4年に誕生した2市を管内とするJA。組合員総数19,761名（うち、正組合員10,786名）、貯金2,127億円、貸出金290億円、長期共済保有高3,987億円、販売品販売高114.4億円（ファーマーズ事業含む）、購買品供給高21億円（令和元年度実績）
- 管内品目（果樹）毎にある支所別ブランドを「紀の里ブランド」に統一した販売戦略の構築と実践
- 選果場の集約と総合選果場の整備による新たな販売戦略の積極的展開

14:50～15:10 休憩

15:10～16:30 討論

（座長）前掲 高田理氏
（コメンテーター）兵庫県農業協同組合中央会 常務理事 小寺收氏

《第3日目》 11月20日(金)

9:10～10:20 報告Ⅳ わがJAの自己改革と経営構造改革の取り組み

（うち質疑応答約10分）

岐阜県 ぎふ農業協同組合 代表理事専務 岩佐哲司氏

- 昭和38年に誕生した6市3町を管内とするJA。組合員総数101,167名（うち、正組合員41,110名）、貯金10,180億円、貸出金2,213億円、長期共済保有高20,026億円、販売品販売高87億円、購買品供給高54億円（令和元年度実績）
- 組合員との信頼関係を築くための「相談」機能を横串に、組合員・地域住民・地域の課題をJAの「総合事業」で対応する「第4次中期経営計画」の実践
- 全組合員調査をきっかけにスタートした全戸訪問の継続実施、農業関連施設再編計画など果敢に挑戦する自己改革への取り組み

10:20～10:30 休憩

<特別報告>

10:30～11:40 報告Ⅴ アフターコロナをどう切り拓くか

（うち質疑応答約10分）

京都橘大学 現代ビジネス学部 教授
京都大学名誉教授 岡田知弘氏

- 専門は地域経済学、公共政策学等。著書：『災害の時代に立ち向かう—中小企業家と自治体の役割』、『地方消滅論・地方創生政策を問う』（自治体研究社）等
- コロナで露呈した経済至上主義、グローバル化の弊害を考える
- アフターコロナをどう展望するか—地域内循環と協同組合間連携の重要性—

11:40～11:50 閉会あいさつ 一般社団法人農業開発研修センター 常務理事 瀬津孝

（京都大学農学部非常勤講師）

注）講師の都合等により、報告時間等に若干の変更がある場合があります。予めご了承ください。

キャンセルポリシー：

- お申し込み後のキャンセルはキャンセル料が発生しますのでご注意ください。
- ・ 11月13日(金)17:00まで …… 10,000円
 - ・ 11月13日(金)17:00以降 …… 全額

研究会レジメの追加について：

当研究会へご参加の場合に限り、1部あたり7,000円（消費税込）で申し受けます。追加をご希望の場合は、参加申込書の下欄にご希望の部数をご記入ください。追加レジメは、研究会当日にお渡しします。後日発送をご希望の場合は、送料をご負担ください。

その他：

ホテルにつきましては、各自で手配してください。

問い合わせ（申し込み）先：

一般社団法人農業開発研修センター 研究会受付係

〒601-8585 京都市南区東九条西山王町1（京都JAビル）

TEL：075-748-0703

FAX：075-748-0855

E-mail：info@agridtc.or.jp

URL：https://agridtc.or.jp

アクセス：



《所要時間》

- ・ JR京都駅（八条口） ⇄ 会場（京都JAビル）＝徒歩5分

農業開発研修センター 行き

<FAX : 075-748-0855>

令和2年度（通算第49回）農協問題総合研究会参加申込書

〒

TEL

FAX

ご住所：

貴機関名：

ご記入者（部課名）

ふりがな
（お名前）

部課・役職名	ふりがな 参加者氏名	会友同時加入 （希望者は○）	昼食（弁当） （希望者は○）
< 記入例 > 総務・企画課長	けんしゅう たろう 研修太郎	○	○

レジメの追加希望 （ ）部

メールアドレスをご記入いただきますと各種セミナーの開催をご案内します。

@

<送金状況>

1. 振込（予定）先 …… イ. 京都信連 ロ. 京都銀行（該当する記号に○印をつけてください）

2. 振込（予定）日 …… 月 日

注1）必要事項をご記入のうえ、ファックスで送信してください。

《申し込み順に受け付けます。定員に達した時点で締め切り、受付できなかった方には連絡します。》

2）ご記入いただいた情報は、研究会の受付事務、参加者に配布する名簿作成、以後の研究会の案内のために使用し、それ以外の目的で使用することはありません。